計測新聞

令和５年11月７日

カンボジア地雷対策センター（CMAC）長官来訪

令和5年11月6日、カンボジア地雷対策センター（CMAC）のヘン・ラタナ長官御一行が訪問されました。

緊張感が漂う中お出迎えをしたところ、ヘン・ラタナ長官の笑顔と「good morning」とお声掛けがあり、胸元で両手を合わせたカンボジアの挨拶がとても印象的でした。

会議では、不発弾処理について沖縄県で過去に起きた事故や磁気探査事業のルーツを説明し、当社で開発した J-SOK を紹介するため、現場と会議室をリモートで繋ぎ、探査の様子や波形の解析を実演しました。

また、探査技術協力の提案をする中で、カンボジアの現状についてお話を伺うことができました。

翌日、沖縄平和協力センター（OPAC）の仲泊様よりお礼のメールを頂きました。

その文面には、欧米では機器を「売る」ということが多い中、自社で機器開発を行い、切磋琢磨して製作されていることは、凄いことだとヘン・ラタナ長官が感銘を受けられた様子の内容が記載されていました。

さらに、今後 CMAC と何らかの協力関係を構築することは歓迎したいというお言葉を頂き、海外進出に向けて一歩前進できたと実感しました。

カンボジアの素敵な
ストールや食品を頂きました！